

生徒一人一人の

# 教育的ニーズに応じた指導

を目指して



## 高校通級 スタートパック



通級による指導が具体的に分かる

生徒の実態に応じた授業づくりができる

通級による指導を

具体的指導内容を

通級による指導の

### 1 理解する

### 2 イメージする

### 3 展開例

4 特別的教育課程

通級による指導を行う場合には、学校教育法施行規則第140条及び第141条を根拠として、特別的教育課程を編成することができます。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校においては、障害に応じた特別の指導を教育課程に加えるか、その一部に替えることができます。

高等学校では、年間7単位を越えない範囲で在学する高等学校等が定めた全課程の修了を認めるに必要な単位のうちに加えることができます。

① 教育課程に加える場合	② 教育課程の一部に替える場合
各学科に共通する 必修教科・科目	各学科に共通する 必修教科・科目
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間
選択教科・科目	選択教科・科目
障害に応じた特別の指導	特別活動

通常の教育課程に加えて通級による指導を行う(数課後に実施しても授業時数として数える)

選択教科・科目の一部に替える(必修教科・科目を除く)

① 伊達村高等学校の1年生の教育課程(必修科目はオレンジで表示)

② マリスさんの特別的教育課程

本校の1年生の教育課程は①のように必修教科・科目で構成されているので、通級による指導を通常の教育課程に「替えて」行うことはできません。夏休み明けから放課後に週2回実施する場合は、マリスさんの特別的教育課程は②のようになります。今年度中に35単位時間を実施し、目標に達すれば1単位を修得することができます。

中学生のとき、マリスさんの通級による指導は週1回でしたので、本人の負担になりそうです。夏休み前2日間、放課後に試に行うことが必要かと思われます。

その場合、通級による指導を放課後に行うことになるので、部活動などに支障が出るかもしれません。

学習内容①「自分に合った整理整頓の方法を考える」

指導に当たって

- これまでの物の管理の状況をチェックし、整理整頓の必要性に気付かせる。
- 整理整頓の方法を教師とともに考え、自分に合った方法で実践する。

本講のねらい

- 整理整頓の必要性を理解し、教師とともに自分に合った整理整頓の方法を考える。(健→心)

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	1.物を忘れりなくしたりして困ったことがあるか振り返る。 2.本講の目標を確認する。	生徒がどんなことに困っているのか聞き取り、それを基に本講の課題へとつなげる。
展開	整理整頓チェック表 物置庫の場所から 用紙の取り出しやすさ ロッカーの場所から 物置庫の場所から 物置庫の場所から	T「チェックシートを持って、今までの物の整理の仕方について振り返ってほしい。」 S「私はあまり物を入れないから大丈夫だけど、ロッカーの中が整理できていない。」 S「物がどこにあるかわからなくて、探すのに時間がかかることもあります。」 T「自分の持ち物を入れておくのはどうですか。」 S「ロッカーです。教科書やプリントもすべてそのままだと大変です。」 T「では、ロッカーを整理する方法を教えれば、学校で物を探る時間が短くなることも減ります。」

特別支援教育  
通級による指導の制度 など

通級による指導の導入モデル  
自立活動の個別の指導計画の作成 など

4人の生徒×3パターンでの指導例

### 4 校内支援体制を整備する

### 5 新たな道を拓く進路指導

### 6 すぐに活用できる資料



大学進学に向けての支援例

大学入学共通テスト	個別試験	生徒への支援
7月 受験上の配慮案内を入手	国公立大学 一般入試や特別入試等、各入試の配慮事項や大学進学後の支援を事前に大学に確認	募集要項を集め、各大学の配慮事項を教師が一緒に確認
8月 受験上の配慮の申請(出願時)	私立大学 一般入試や特別入試等、各入試の配慮事項や大学進学後の支援を事前に大学に確認	願書記入の指導
9月 受験上の配慮の申請(出願時)	組合型選抜(AO入試)の配慮申請と配席事項決定通知書の送付は、各大学の設定する出願試験の日程により多岐にわたる。(各大学を11月以降、順次行われる。)	願書記入の指導
10月 受験上の配慮事項書(出願時)	学校推薦型選抜出願(11月以降)合格発表(12月以降)	共通テスト実施校との配慮事項に関する打合わせ(12月)
11月 受験票および受験上の配慮事項決定通知書の受取(12月申請)	前・中・後期試験配慮申請	
12月 受験票および受験上の配慮事項決定通知書の受取(12月申請)	配慮申請	

生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を目指して

### 「通級による指導」のご案内

お子さんは、こんなことに困っていませんか?

- 気が取ってしまつて勉強に集中できない
- 学習や生活の段取りがうまく立てられない

自分の気持ちやうまく伝えられない  
気持ちのコントロールがうまくできない

通級による指導では、お子さんの将来の自立に向けて、サポートします

通級による指導とは

校内支援体制  
通級による指導開始までのプロセス など

進学に向けての支援  
就職に向けての支援 など

生徒用リーフレット  
保護者用リーフレット  
校内研修用スライド など

